



J

スピーカー

NS-3000

取扱説明書

保証書別添付

ご使用前に本説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことに
ありがとうございます。

- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

JA

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。

記号表示について

この機器や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号



- 点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 不適切な使用や改造によりお客様がけがをしたり機器が故障したりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 本製品は一般家庭向けの製品です。生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される用途に使用しないでください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐにアンプやレシーバーの電源を切る。

- 機器から異臭、異音や煙が出た場合
- 機器の内部に異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 機器に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

設置



取扱説明書で指示された方法で設置する。

落下や転倒して、けがや破損の原因になります。

必ず実行



設置後は必ず安全性を確認する。定期的に安全点検を実施する。

落下や転倒して、けがをする可能性があります。



スピーカーケーブルは必ず壁などに固定する。

ケーブルに足や手を引っかけるとスピーカーが落下や転倒し、故障やけがの原因となります。

分解禁止



この機器を分解したり改造したりしない。

火災、感電、けが、または故障の原因になります。

水に注意



- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。

- この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。

火に注意



この機器の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

必ず実行



注意 「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

設置



禁止 不安定な場所や振動する場所に置かない。
この機器が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。



禁止 指定以外の方法でこの機器を設置しない。
故障や転倒してけがの原因となることがあります。



禁止 塩害や腐食性ガスが発生する場所、油煙や湯気の多い場所に設置しない。
故障の原因になります。



禁止 地震など災害が発生した場合はこの機器に近づかない。
この機器が転倒または落下して、けがの原因になります。



必ず実行 この機器を移動する前に、接続ケーブルをすべて外す。

ケーブルを傷めたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

聴覚障害



禁止 大きな音量で長時間機器を使用しない。
聴覚障害の原因になります。異常を感じた場合は、医師にご相談ください。



ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。

必ず実行 聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。

取り扱い



禁止 この機器のバスレフポート(背面の穴)に手や指を入れない。
けがの原因になります。



禁止 この機器のバスレフポート(背面の穴)から金属や紙片などの異物を入れない。
火災、感電、または故障の原因になります。



禁止 小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。



禁止 以下のことをしない。

- この機器の上に乗る。
- この機器の上に重いものを載せる。
- この機器を重ねて置く。
- ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加える。
- この機器に寄りかかる。

けがをしたり、この機器が破損したりする原因になります。



禁止 接続されたケーブルを引っ張らない。
接続されたケーブルを引っ張ると、機器が転倒して破損したり、けがをしたりする原因になります。



禁止 音がひずんだ状態ではこの機器を使用しない。
機器が発熱し、火災の原因になることがあります。



必ず実行 この機器と組み合わせて使うアンプやレシーバーを選ぶとき、アンプやレシーバーの出力レベルがこの機器の許容入力レベル（10ページ参照）以下であることを確認する。

出力レベルが許容入力レベルを超えていると、火災や故障の原因になります。

注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。

設置

直射日光のある場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。

接続

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因となります。

取り扱い

この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色／変質する原因になります。

お手入れ

極端に温湿度が変化すると、この機器表面に水滴がつく（結露する）ことがあります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因になります。

お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナーなどの薬剤、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色／変質する原因になります。

スピーカー

振動板には触れないようにしてください。振動板が破損する原因になります。

本機のスピーカーには磁石が使われています。磁気の影響を受けるもの（ブラウン管テレビ、時計、キヤッショカード、フロッピーディスクなど）を本機の上やそばに置かないようにしてください。

お知らせ

製品に搭載されている機能に関するお知らせ

バスレフポートから空気が吹き出す場合がありますが、この機器の故障ではありません。特に、低音成分の多い音を出力する場合に起こります。

本書の記載内容に関するお知らせ

本書は本機をお使いになる方を対象とした取扱説明書です。

本書では注意事項などを以下のように分類しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容が記載されています。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容が記載されています。

ご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容が記載されています。

お知らせ

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報が記載されています。

本書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。

本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

機種名（品番）、製造番号（シリアルナンバー）、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

目 次

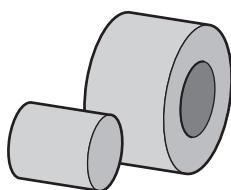
安全上のご注意	2	スピーカーの設置	6
本機の特長	5	アンプとの接続	8
ポートプラグ	5	仕様	10
付属品	6		

本機の特長

NS-3000 は、音楽を人生のパートナーと位置づけた、高音質を求める HiFi ファンに向けて開発されたスピーカーです。ヤマハのグランドピアノと同じ塗料、研磨工程による全面鏡面のピアノフィニッシュで仕上げました。

- 16cm 2 ウェイ ブックシェルフ スピーカーシステム
- ザイロン ダイアフラム採用（ザイロン®は東洋紡株式会社の登録商標です。ZF-209C）
- アコースティック アブソーバー採用
- レゾナンス サブレッショング チャンバー採用
- ツイステッド フレアポート採用

ポートプラグ

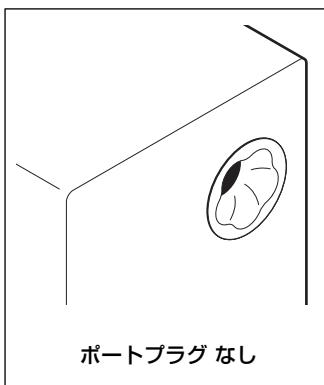


本製品には低音域を調整するためのポートプラグ（吸音材）があらかじめ取り付けられています（背面ツイステッドフレアポート内部）。

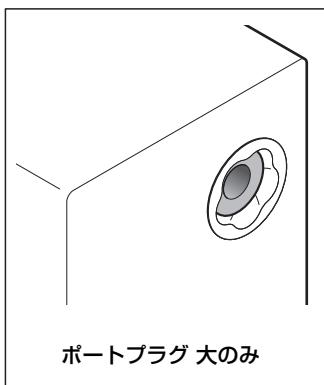
本製品を設置する場所や壁からの距離により、低音域の調整が必要なとき、取り付け / 取り外してお使いください。大小ふたつのパーツで 2 段階の調整ができます。

低音域をおさえたい場合 ☞ ポートプラグを取り付けます。

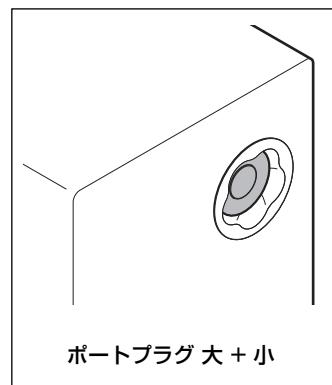
メーカー推奨 ☞ ポートプラグを取り外してお使いください。



ポートプラグ なし



ポートプラグ 大のみ



ポートプラグ 大 + 小

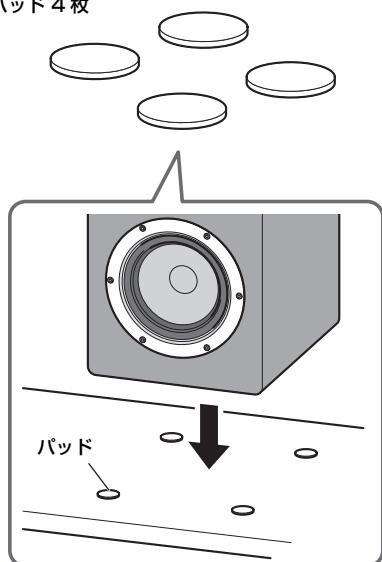
ご注意

- ポートプラグを本体へ取り付ける際は、あまり深く挿入し過ぎないでください。ポート内部へ落ちて取り外せなくなることがあります。
- ポートプラグが取り外せなくなったり、内部へ落ちてしまった場合は、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

付属品

付属品がそろっているか、確認してください。

パッド 4 枚



■ パッドの使いかた

注意

- 本機が滑って動かないことを確認してからお使いください。
本機が落下してけがの原因となることがあります。

付属のパッドは、本機底面と設置面を保護するためのものです。本機を床や棚の上に直接置く場合は、図のようにパッドを本機底面（4隅）と設置面の間にはさんでお使いください。

ご注意

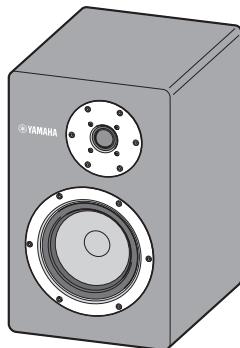
- パッドは接着剤や両面テープなどで固定しないでください。本体底面や設置面の塗装がはがれる場合があります。

お知らせ

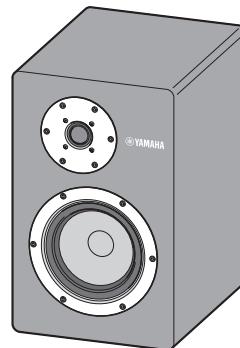
- 別売の専用ヤマハスピーカースタンド (SPS-3000) を使用する場合、パッドは必要ありません。

スピーカーの設置

NS-3000 (L)

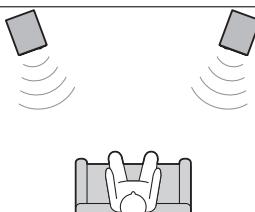


NS-3000 (R)



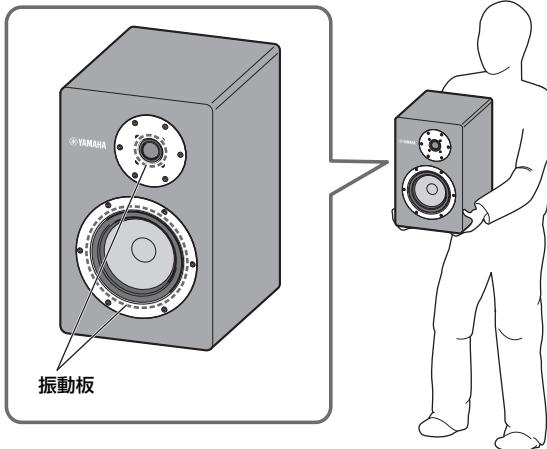
■ 2チャンネルスピーカーシステムとして

図のようにリスニングポジションに対して少し内側に向けて設置することにより、効果的なステレオ再生ができます。



お知らせ

- 変形タイプの部屋や、部屋に障害物がある場合、必要に応じてスピーカーの位置や角度を変えたり、左右のスピーカーを逆の位置に設置したりすることで効果的なステレオ再生をお楽しみいただけます。

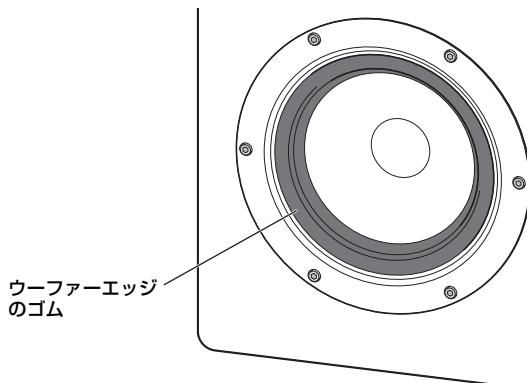


注意

- 本機側面の鏡面部は滑りやすいので、側面および底面を持って運んでください。
- スピーカースタンドなどに設置するときに手や指を挟まないよう注意してください。

ご注意

- 前面の振動板部分には触れないようしてください。破損の原因になります。
- 本機は非防磁設計です。ブラウン管テレビの近くに設置すると、色ムラや雑音などが生じる場合があります。そのときは、テレビとスピーカーの距離を離して使用してください。

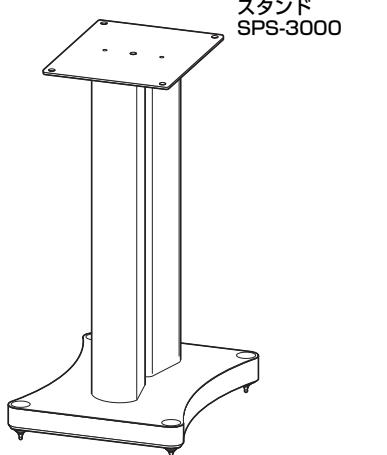
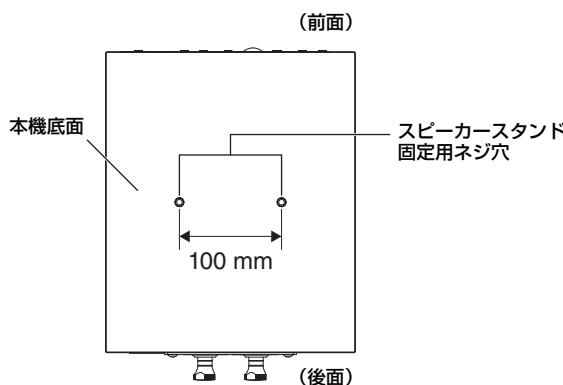


お知らせ

- ウーファーエッジのゴムは、音質を最優先させた材料を使用しています。まれに白化することがありますが、ゴムの成分が析出したものです。性能にはまったく影響ありませんので安心してお使いください。

別売専用ヤマハスピーカースタンド SPS-3000 に取り付ける場合

本機底面の穴を利用して SPS-3000 に取り付けると、
フロアースタンドスピーカーとして使用できます。
取り付けの際は、SPS-3000 の取扱説明書もあわせて参考して
ください。



ヤマハスピーカー[®]
スタンド
SPS-3000

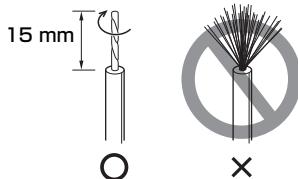
アンプとの接続

接続するときは、必ずアンプなどの電源を切ってから行ってください。

■ 接続について

市販のスピーカーケーブルをご用意ください。

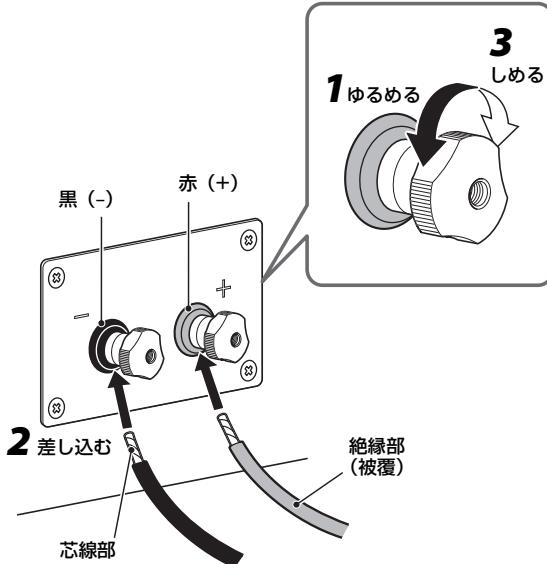
スピーカーケーブルの太さや材質は、再生音質に影響を与えます。本機の性能を十分に発揮させるために、高品質のスピーカーケーブルを使うことをおすすめします。



スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）をよじりながら引き抜きます。

■ 接続のしかた

1 本機背面にある端子を左に回してゆるめます。



注意

- 端子のツマミは、いっぱいにゆるめるとはずれます。誤って飲み込むおそれがありますので、はずしたツマミは乳幼児の手の届くところに置かないでください。

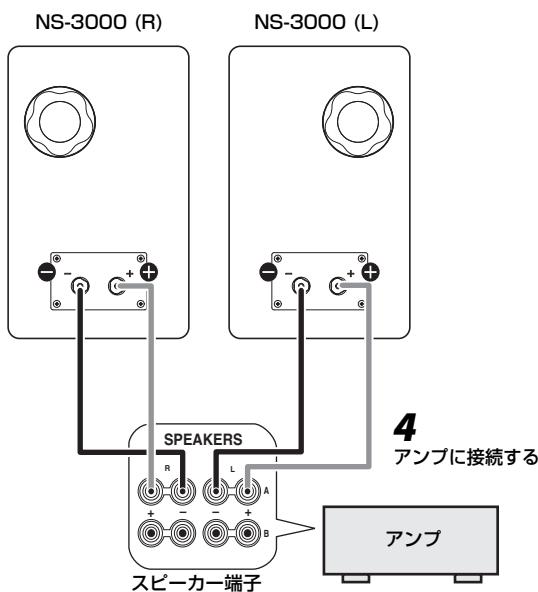
2 スピーカーケーブルを端子の穴に差し込みます。

お知らせ

- ケーブルの絶縁部（被覆）を穴の中に入れないでください。音が出ないことがあります。

3 端子を右に回して締めつけます。

芯線部分が穴からはみ出しているかどうかを確認してください。



4 スピーカーケーブルをアンプの L (左) 端子と R (右) 端子に接続します。

お知らせ

- ・本機の赤端子はプラス (+)、黒端子はマイナス (-) です。
- ・極性 (+、-) を間違えると不自然な音になります。

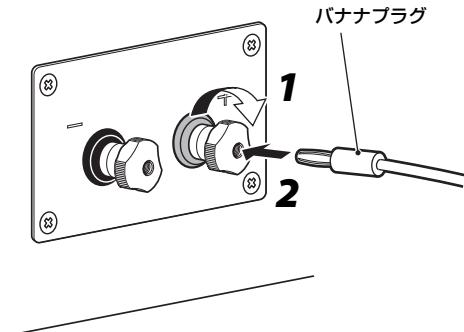
ご注意

- ・スピーカーケーブルのプラス (+) とマイナス (-) 芯線どうしが接触したり、芯線が他の金属部に接触することのないようご注意ください。スピーカーを破損する原因となります。
- ・スピーカーケーブルは必ず固定してください。手や足に引っかけて本機が転倒する原因になります。
- ・アンプのトーンコントロール (BASS、TREBLE 等) やイコライザーを最大にして過大出力で使用したり、特殊な信号 (テープの早送り時の音、プレーヤーの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生波) を連続して入力することは、スピーカーの破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。

お知らせ

- ・スピーカーの許容入力以上の出力を持つアンプを使用する場合は、スピーカー保護のため、最大入力以上の出力を入力しないよう、ご注意ください。
- ・接続する際は、アンプの取扱説明書もあわせて参照してください。

■ 市販のバナナプラグを使用する場合



仕様

型式	2 ウェイ・ブックシェルフ バスレフ型 ／非防磁型	許容入力	60 W
スピーカーユニット	16 cm コーンウーファー 3 cm ドームツィーター	最大入力	120 W
インピーダンス	6 Ω (最小 4.6 Ω)	出力音圧レベル	87 dB/2.83 V, 1 m
再生周波数帯域	39 Hz ~ 60 kHz (-10 dB) ~ 100 kHz (-30 dB)	クロスオーバー周波数	2.8 kHz
		外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	244×394×326 mm
		質量	13.1 kg

※ この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

※ 上記の最大入力値以上の信号を加えないよう十分ご注意ください。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通)  0570-011-808

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

<https://jp.yamaha.com/support/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関する お問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通)  0570-012-808

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻ビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。 技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

* このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

Yamaha Global Site
<https://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2020 Yamaha Corporation

2020年4月発行 IPEI-A0

VAG3250